

施政方針めぐり活発な論議

市民との協働のまちづくりを推進



16年度の施政方針を述べる大蔵市長(後列左 陶山議長、右 高梨局長)

今定例会の代表・総括質問では、平成十六年度の施政方針をはじめ新平塚市総合計画・改訂基本計画第三次実施計画の内容に議論が集中しました。また、まちづくりの分野では、道路補修計画やコミュニティバスの運行について、経済の分野では、食の安全対策や競争事業の経営について、環境の分野では、循環型社会の構築について、教育の分野では、歴史的建造物保存・活用事業や教育改革の推進などについて質疑が行われたほか、市民病院の機能評価の導入についても議論が及びました。これらの質疑内容を、各常任委員会での質疑も併せて二、八面に「ご紹介」します。(質問を行った議員名は、「この紙面の下段に掲載します。」)

議員 市長から施政方針が示されたが、市長としての目標設定がなく、懸案の大型事業の見解も避けているため、明確な指針が示されていない。施政方針はどのような考え方で策定されたものなのか、見解を伺いたい。

市長 施政方針は、十六年度の市政の方向性を示し、重点施策への取り組み姿勢や思いを明らかにしたものである。この中では、新平塚市総合計画・改訂基本計画第三次実施計画や十六年度の主要な

事業への取り組み方法を述べている。重点施策を貫いている精神は「多様な市民の参加・参画により、市民がどの分野でも生き生きとかわりを持つ協働のまちづくりを進める」というものである。

議員 施政方針では、選挙公約の実現に全力を尽くすとともに、市政は市民主体が原則であると考え、市民と協働したまちづくりを実現するため、市民の目線に立つた行政運営に努めるとしているが、選挙公約と就任後明

選挙公約との整合性ただす

議員 施政方針では、選挙公約の実現に全力を尽くすとともに、市政は市民主体が原則であると考え、市民と協働したまちづくりを実現するため、市民の目線に立つた行政運営に努めるとしているが、選挙公約と就任後明

市民サービス向上へ新庁舎建設の見通し尋ねる

議員 市民サービスの向上、事務の効率化を図るための最優先課題は新庁舎建設であると思うが、見解を聞きたい。

市長・総務部長 現庁舎は狭あい化、分散化が進み、来庁者に不便をかけている。また高齢者、身体障害者への配慮が行き届かない部分があり、耐震性にも問題を抱えている。

確となったテーマとは整合性が取れているのか聞きたい。

市長 公約の一つである「市民との対話集会」として「いどばた会議」や「学びトーク」を開催し、市民から寄せられた意見、提言を通じて、取り組むべき市政のテーマを明確にした。そのテーマは、「安心・安全のまちづくり」「自治基本条例の制定」「自然環境の保全」「循環型社会の構築」「地域福祉の充実」などである。第三次実施計画の策定に当たっては、これらのテーマを実現するため、計画事業として位置づけ当初予算にも盛り込んでいく。

政策形成機関早期設置の考え

議員 今後、地域の独自性ある施策を実施し、都市間競争に勝つためには、自治体シンクタンク(政策形成機関)の設置が急務と考えるが見解は、

自治基本条例策定に向け公募による市民委員会設置

議員 総合的な自治体運営の基本を明確にするため、十七年度中に自治基本条例の制定を目指すとして、

市長 今回の組織改革で

に二地区で町内福祉村の増設、地域福祉コーディネーターの配置、小児医療費助成制度の拡充を行いたい。

議員 今後、地域の独自性ある施策を実施し、都市間競争に勝つためには、自治体シンクタンク(政策形成機関)の設置が急務と考えるが見解は、

16年度当初予算の編成

議員 市長として取り組むべき市政のテーマを実現するために十六年度当初予算編成はどのような考えで行ったのか。

市長 依然厳しい財政状況が続く中、「市民と行政が協働した地域主体のまちづくり」の実現に向け、十六年度からスタートする第三次実施計画では「安心・安全のまちづくり」など四項目を重点的に取り組む柱とし、事業の再評価に基づき選択をした。これを基本とし、予算編成では、施政方針でも述べている予算編成

国の「三位一体改革」により、国庫補助金等が軒並み減額されるようであるが、本市独自の対策を検討しているのか。

議員 国の「三位一体改革」により、国庫補助金等が軒並み減額されるようであるが、本市独自の対策を検討しているのか。

市長 十六年度の改革は、地方財政の縮減という痛みを伴う内容となっている。市民生活にどのような影響が及ぶのかなど、本市としても市民に必要な行政サービスを自らの責任と判断で自主的・効率的に選択していきたいと考える。

の五つの基本方針により、限られた財源を極力第三次実施計画事業に重点的に配分することとした。

議員 日本経済の先行きは、一時の厳しい状況は脱しつつあるといえるが、どのように本市の財政見直しを行ったのか。

増加傾向の繰出金 今後の対応聞く

議員 一般会計からの国民健康保険事業特別会計のように市民がまちづくりについて考え、行動を積み重ねることで、市民の自治に対する意識が高まっていくものと考えている。

議員 条例制定後、まちの独自性をどのように抽出し、市のビジョンに組み入れていくのか。

まちの特色どう抽出

議員 自治基本条例に定めるまちのありようを見据えるとき、市民の自治に対する意識改革についてどのように考えているのか。

市長 条例制定後も内容を市民に周知し、市民とともにまちづくりの実践に取り組んでいく。この

より推計した。

議員 国の「三位一体改革」により、国庫補助金等が軒並み減額されるようであるが、本市独自の対策を検討しているのか。

本会議で質問を行った議員

《代表質問》
○平塚クラブ
伊藤裕
○平塚までしこ21議員団
眞敏昭
○公明党平塚市議員団
穂坂光俊
○日本共産党平塚市議会議員団
渡辺敏光
《総括質問》
○平塚クラブ
金子修一・片倉章博・岩田耕平・高橋紀英・出縄喜文
○平塚までしこ21議員団
小泉春雄・小林保雄
○公明党平塚市議員団
鈴木晴男・高梨孝治
○日本共産党平塚市議会議員団
田中幸雄
○神奈川ネットワーク運動
佐藤秀子
○このほか、ひらつか市民の党、ひらつか企画室の各議員も質問を行いました。

議員 国の「三位一体改革」により、国庫補助金等が軒並み減額されるようであるが、本市独自の対策を検討しているのか。